

福祉サービス第三者評価結果

事業所

明野台こども園

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和10年4月22日

③事業者情報

名称:	社会福祉法人 日吉会 明野台こども園	種別:	幼保連携認定こども園
代表者氏名:	理事長 廣末 豊美	定員(利用人数):	135 名 (134)名
所在地:	大分県大分市猪野360-1		
電話番号:	097-523-6262		

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が確立・周知されている。】

・保育所の使命や役割を反映した保育理念、保育目標等が、パンフレット、ホームページ等に掲載されており、これにもとづく運営の方針が適切に明文化されている。職員や保護者への周知については、職員には会議や研修会などで、保護者については、入園前の見学時等で周知が図られている。

・「太陽と水と土にまみれて大きな～れ」が保育に対する基本姿勢で、自然に恵まれた園庭で、子ども達が心ゆくまで遊び込んでいる。また、隣接の田畑では四季の野菜づくりに取り組み、給食の食材に提供され、自然の恵みの食に感謝の心が育まれ、子どもたちに「食べる力は生きる力」の保育と給食が一体化した支援に取り組んでいる。

【運営の透明性を確保するための取り組みが行われている。】

・ホームページ等に、保育所の理念や保育目標、保育内容、財務状況、保護者の園評価集計表、自己評価結果、苦情・相談等が適切に公開されており、当施設の特色ある保育の実践が主体的に公表されている。

【利用者を尊重する姿勢が明示されている。】

・保育園の保育理念で「子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され地域に愛される保育園を目指す」と、子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示されており、一人ひとりの子どもを需要し、子どもが安心・安全に生活ができる環境を整えて、それぞれの子どもに応じた発達を支援する保育に取り組んでおり、保育士だけでなく、保護者にも保護者会等を通じて共通の認識を持つよう周知されている。

【保育理念・保育方針・保育目標が明文化されており、それに基づき全体的な計画を作成している。】

・全体的な計画により、保育所全体で組織的・計画的に保育に取り組み、一貫性・連続性のある保育実践を展開できると考える。

・土と水と太陽のこども園として、その時期にふさわしい生活や遊びを積み重ねる関りをして「豊かな人間性をもった子どもを育成する」ことができている。そして配慮を要する児への支援、カリキュラムの充実、円滑な接続に向けた幼保小連携の推進、家庭や地域と連携・協働した幼児教育・保育の充実がなされている。人との関りの中ではぐくむ教育・保育の充実、日常生活における体験活動の充実、健康・安全に暮らせるための基本的な生活習慣を身に着ける支援がなされている。

【保護者が安心して子育てができる支援を行っている。】

・送迎時のコミュニケーション・連絡帳にて保護者との信頼関係の構築に努めている。保護者からの相談には内容によっては別室にて対応し適切に記録をとっている。子育て支援に有効な機関等の情報提供も行っている。

・面談日を設けて、日々の子どもの成長や様子を伝え、情報を共有している。その際には保護者の意向を尊重し、延長保育など状況に応じた情報提供も行っている。

・保育所の各行事に参加してもらう交流の機会、子育て相談、支援サービスに関する情報提供をすることで、保護者が自信と喜びを感じ、子育てに不安や孤立感を抱かないように、保護者の気持ちに寄り添い必要な支援を行っている。

【保育士自らの人権感覚や倫理観を磨き豊かな人間性を養っている。】

・保育士は年に1度、主体的に保育実践の振り返りとして自己評価を行っている。子どもの育ちを捉える視点と、自らの保育を捉える視点から、保育の改善や質の向上に努めている。

・月に1回は会議を持ち話し合うことで、一人では気付けない保育の良さや課題の確認をしている。それを保育所全体の自己評価に繋げ、組織的・継続的保育の質の向上に向けた取り組みがなされている。園内研修・園外研修にてその都度振り返りを行なって専門性の向上に努めている。

◇改善を求められる点

【ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。】

・地域、学校等のボランティアの受け入れ、地域の体験教室の学習等への協力に関する方針のマニュアルの作成を行い、関係機関と連携しながら、取り組むことを期待する。

⑤ 第三者評価に対する事業者のコメント

評価報告ありがとうございます。
評価を受け自園で改善に取り組みたいと思います。

⑥ 各評価項目にかかる評価結果(別紙)